式 辞

本日ここに、鳥取県教育委員 鱸俊朗様、高等学校課長 酒井信彦様をはじめ、ご来賓、同窓生の皆様、同窓会役員・P T A 役員の皆様のご臨席を賜り、鳥取県立鳥取商業高等学校 創立百一〇周年記念式典 を盛大に挙行できますことに、心より感謝申し上げます。

さて、本校は明治四三年（一九一〇年）四月一日、現在の鳥取市立北中学校の地に、鳥取県立商業学校として開校しました。同年五月一〇日に校舎落成式が挙行され、以後、この日を開校記念日としています。創立当時は全国的に商業学校が少なく、教職員は愛媛県、広島県、岡山県、岩手県、山形県、北海道などから赴任しました。

昭和九年、学校名に「鳥取」を冠した県立鳥取商業学校へと改称され、戦争が終わる一年前の昭和一九年には県立第二工業学校となります。生徒たちは海軍航空廠や日産工場の軍需工場に動員されました。

戦後の昭和二一年、鳥取商業学校に名称が戻り、戦後教育改革によって昭和二三年に鳥取県立鳥取商業高等学校が誕生します。昭和二四年には、四つの学校が統合され、鳥取西高等学校商業科となりました。

しかし、商業教育の充実のために独立を望む声が強くなり、同窓会を中心とする運動が実って、昭和三二年、県立鳥取商業高等学校が再び誕生しました。その二年後、湖山の現在地に木造校舎一棟一二教室が完成して一・二年生が移転、翌昭和三五年、全学年が現在地で学び始め、今日に至っています。本校は、鳥取城跡のお堀端に五〇年、産文ヶ丘に六一年の歴史を刻んでいます。

第一回入学生一〇〇名でスタートした本校は、戦後の高度経済成長期と人口急増期に、商業科のほか経理科、情報処理科・情報管理科、国際経済科が設置され、平成元年には一学年九学級、全校で一千名を超す県内有数の大規模校となります。しかし、出生者数の急激な減少に伴い、平成一一年から令和三年まで二二年の間に、一学年八学級から四学級（令和三年度入学生）となります。この間、平成一一年から平成二二年までは英語学科が併設され、平成一九年には現行の類型制が導入されました。

ところで、本校の校訓は「質実剛健」です。鳥取市出身で当時三〇代前半だった山中安躬初代校長は、県内初の商業学校の立ち上げを託

され、「質実剛健」「誠実勤勉」「士魂商才」の三つを教育方針に掲げました。自らも教壇に立ち、徹底した実践主義の教育を行ったと伝えられています。鳥取の地に商業教育を啓いた山中校長の想いは、一一年を経た今もなお受け継がれています。

今から一一年前、「めざす人物像」「鳥商教育のイメージ図」が制定されました。鳥商教育は、「めざす人物像」として「地域の産業経済界をリードし、活躍する人」を掲げます。鳥商デパートを「鳥商教育の集大成」と位置づけ、「ビジネス教育」、「資格取得」、「部活動」の三本柱を通して、ふるさと鳥取に貢献できる人材を育成しています。

平成六年に始まった「鳥商教育の集大成」である鳥商デパートは、鳥取地区の人口の約五パーセント、一万人が来場し、売上高一三〇〇万円を超える「鳥取の冬の風物詩」となっています。高校デパートの分野では、西日本を代表する存在です。

三本柱の一つ「ビジネス教育」では、平成二五年度から三ヶ年におたり、文部科学省の教育課程研究指定を受け、「主体的・対話的で深い学び」の研究に全国でいち早く取り組みました。平成二八年には全国商業高等学校長協会「学校表彰」、平成三〇年には文部科学省「キャリア教育優良校表彰」を受賞しています。

進学・就職に直結するだけでなく、地域の産業経済界を支えるために必要不可欠な「資格取得」には、生徒・職員が一丸となって取り組んでいます。その成果の一端は、三年連続で全商検定一級七種目取得を達成したことに示されています。今年度は、県内高校初の一級三種目以上取得一〇〇名をめざしています。

「部活動」も、輝かしい成果を上げてきました。全国大会優勝経験のあるアーチェリー部、陸上競技部、男子ソフトテニス部、簿記部。全国選手権大会二回出場の野球部、全国大会一四年連続出場の記録を持つ吹奏楽部、春高バレー一〇回出場の男子バレーボール部。全国高校総合文化祭に県内高校で初めて出場した演劇部、全国大会の常連であるボート部、情報処理部。地産地消の商品開発に取り組む商業経済研究部など、すべての部活動で鳥商生は活躍しています。

中でも、バレーボールで北京オリンピックに出場した山本隆弘選手、ボブスレーでトリノ・バンクーバーオリンピックに二大会連続出場した小林竜一選手の夏季・冬季オリンピックを輩出したことは、本校にとって大きな誇りです。二人に続く選手が出ることを期待します。

鳥商教育の特徴の一つに、県内高校で最も早い時期に始めた「国際交流」があります。昭和六二年の韓国・清洲（チョンジュ）女子商業高等学校来校を皮切りに、韓国江原道、モンゴル、ドイツの高校と交流してきました。昨年度から、アメリカ・バーモント州エセックス高校と月一回のオンライン・ミーティングを実施し、コロナ後の本格交流の準備をしています。

「健康教育」も、鳥商教育の大きな特徴です。本校は、今年二月、日本学校保健会が主催する令和二年度「全国健康づくり推進学校表彰」最優秀校を県内高校で初めて受賞しました。全国五千高校の中で本校のみが最優秀賞校であり、健康教育の分野で日本一になりました。

現在、GIGAスクール構想が進み、教育は大きく変わろうとしています。本校は鳥取県のモデル校の一つとして、今年度入学生から一人一台端末のICT教育を実施します。

また、今年度から、全日制商業高校では全国三番目となる単位制教育課程を導入しています。商業科と地歴公民科、英語科が連携する教科横断型科目を新設するなど、全国に先んじた商業教育の実践を企図しています。鳥商教育の新しい形が生まれつつあります。

終わりになりましたが、このたび同窓会におかれましては、創立一〇周年記念事業として、校旗の新調、グローバル教育基金の設立、創立一〇周年記念誌の刊行、同窓会名簿（第二三号）の発刊を行っていただきました。同窓会員の皆様の本校に寄せる熱い思いに、心より感謝申し上げます。

また、PTAの皆様にも、記念諸事業のために格別のご理解と御支援をいただきましたことに、厚く御礼を申し上げます。

我が国を取り巻く経済環境は厳しさを増しています。地球規模のネットワークはますます緊密になり、そのスピードを加速させています。鳥取商業高等学校のミッションは、ふるさと鳥取を支えるグローバル人材を、「専門人材育成」、「ふるさとキャリア教育」によって育成し続けることです。今後とも皆様のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。式辞といたします。

令和三年五月八日

鳥取県立鳥取商業高等学校長

岩田 直樹